

議長定例記者会見／令和6年6月28日（金）

○丸井議長

お忙しいところお集まりをいただきまして、本当にありがとうございます。

それでは、まず初めに、第318回定例会の採決結果について御報告をいたします。

知事提出議案49件のうち、議案20件を可決・承認・同意し、報告のみが29件でした。

議員発議案については、提出された4件のうち1件を可決し、3件が否決となりました。

議員派遣については、海外派遣1件、国内派遣2件が可決されました。

次に、議会改革検討委員会からの報告について申し上げます。

今年4月に同委員会に対して追加で検討を依頼した、本会議場における軽装の取扱いの検討結果について、6月11日に工藤慎康委員長から報告がありました。

これを受け、同日開催した各会派代表者会議において、報告書の内容を尊重し、「通年」で「ノーネクタイを可とする」ことが了承されました。

私からは以上です。

○記者

核燃料物質等取扱税の条例改正について、議長の所感や議長から執行部にお伝えしたいことがあればお聞かせください。

○丸井議長

皆様から頂いた税金は、全県的に幅広く、県民のために使われるようお願いしたいと思います。

○記者

副知事が2人の体制になることについて議長の所感や、県政運営が2年目になる知事に期待されることがあればお聞かせください。

○丸井議長

私は知事や副知事と同席する機会が多くありますが、知事と副知事はとても忙しそうに見えます。知事を支える体制が充実することにより、それぞれが業務に専念する時間を確保できるようになればよいと思います。

○記者

知事が就任して2年目を迎えます。知事の県政運営の評価と議会との距離の取り方について、どのように感じていますか。

○丸井議長

知事就任から1年が過ぎたばかりであり、結果が出てくるのは、もう少し先のことになると思っています。県議会としては、知事はいろいろなことに着手しており、スピード感をもって進めていただいていると思います。

○記者

知事からは、議会と一つの輪になって進めていこうという話がありました。知事と議会の関係は、一つの輪でしょうか、車の両輪でしょうか、議長はどのようにお考えになりますか。

○丸井議長

私は知事と議会は両輪でなければならないと思っています。お互いが同じ大きさになるように、切磋琢磨していくものと思います。

○記者

議員定数等検討委員会の検討について、1年間の周知期間を置くとすれば、2025年11月定例会で方針を決定し、2026年2月定例会で条例改正するというスケジュールでよろしいでしょうか。

○丸井議長

議員定数等検討委員会においてスケジュールを決めていただくこととなります。私は1年ぐらいの周知期間は必要になると申し上げてきたところです。議員定数等検討委員会が一定の周知期間を確保したスケジュールを考えていただいたことは、ありがたいと思います。

○記者

周知期間を置くということは、その前提として、議員定数等を変更するという認識でしょうか。

○丸井議長

議員定数等検討委員会において、各会派からの意見を聞きながら議論を進めていただきたいと考えています。

以上、ありがとうございました。